

令和5年度日本植物病理学会九州部会プログラム

令和5年11月29日（水）13時00分～30日（木）12時00分
会場：長崎県農協会館 7階 大会議室（701～704会議室）
（長崎市出島町1番地20号）

講演10分・討論3分（1鈴8分，2鈴10分，3鈴13分）

<29日の部>

12:00 開場
12:55 事務連絡

座長：(菅 康弘)

-
- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 13:00 | 発病試験に向けた卵胞子給源のためのタマネギベと病罹病葉の保管条件
●中村和哉 ¹ ・古田明子 ² ・井手洋一 ² ・草場基章 ¹
(¹ 佐賀大農・ ² 佐賀農業セ) |
| 2 | 13:13 | タマネギベと病菌の休眠型卵胞子は輪郭が明瞭なOoplast様構造物を有する
●高谷樹 ¹ ・近藤知弥 ² ・井手洋一 ² ・草場基章 ¹
(¹ 佐賀大農・ ² 佐賀農業セ) |
| 3 | 13:26 | 佐賀県内のタマネギ圃場土壌中で培養したタマネギベと病菌の卵胞子から分離された微生物について
●野中椋太・草場基章
(佐賀大農) |
| 4 | 13:39 | タマネギベと病防除を目的として実施したドローンによる空中散布時の薬液付着
○井手洋一 ¹ ・山本祐也 ² ・柳田理恵 ² ・近藤知弥 ¹ ・成富毅誌 ¹ ・古川あずさ ¹
(¹ 佐賀農業セ・ ² (株)アイテム) |

座長：(中村正幸)

-
- | | | |
|---|-------|---|
| 5 | 13:52 | UV-B treatment suppresses symptoms induced by cucumber mosaic virus but does not affect vectors' preferences on tomato plants.
●Emi Ota ¹ , Shohei Matsuura ² and Minoru Takeshita ¹
(¹ Miyazaki Univ・ ² Hiroshima Prefecture) |
| 6 | 14:05 | Sweet potato virus 2感染サツマイモの国内における初報告
●青山実樹・竹下 稔
(宮崎大院農) |
| 7 | 14:18 | 沖縄県におけるカボチャのモザイク病の病原ウイルスの調査
○富高保弘 ¹ ・田中彩友美 ¹ ・北村登史雄 ¹ ・安達修平 ¹ ・儀間康造 ² ・田場奏美 ² ・安次富由乃 ³
(¹ 農研機構・ ² 沖縄防技セ・ ³ 沖縄農研セ) |

座長：(山崎 修一)

-
- | | | |
|---|-------|--|
| 8 | 14:31 | ジャガイモそうか病菌に対する牛由来ラクトフェリシン(LFcinB)の抗菌作用機序について
●藤田将矢・中村正幸・岩井 久
(鹿児島大農) |
| 9 | 14:44 | 青枯病菌キク分離株のコアゲノム多遺伝子座配列型およびゲノム比較解析
●西山晴喜 ¹ ・乙藤英奈 ¹ ・飯山和弘 ¹ ・菅康弘 ² ・土屋健一 ¹ ・堀田光生 ³ ・古屋成人 ¹
(¹ 九州大院農・ ² 長崎農技セ・ ³ 農研機構農環研) |

- 10 14:57 **病原性関連遺伝子破壊株による青枯病の生物的防除素材の選抜**
●米原 駿¹・若山 和佳¹・飯山 和弘¹・矢野 和孝²・土屋 健一¹・古屋 成人¹
(¹九大院農・²高知農技セ)
- 11 15:10 **MPN-PCRを用いた土壌中のカーネーション萎凋細菌病菌の高感度検出定量法の開発**
○波部一平¹・吉富(渡川)友里恵²・堀田光生³
(¹長崎農技セ・²長崎県北振興局・³農研機構農環研)
-
- 座長:(菊原賢次)
- 12 15:23 **アスパラガス属野生種のハマタマボウキから分離された新規病原菌について**
●王 靖怡¹・李 睿钰¹・松元 賢²
(¹九大地社統・²九大熱研セ)
- 13 15:36 **沖縄県における水稻とサツマイモの輪作によるサツマイモ基腐病の防除**
○大城篤・田中洋貴・太郎良和彦・新崎泰史・正田守幸
(沖縄農研セ名護)
- 14 15:49 **サツマイモ基腐病を接種した塊根におけるイポメアマロンの蓄積**
○齊藤 晶・川田ゆかり・倉田理恵
(農研機構九沖研)
- 15 16:02 **土壌からのサツマイモ基腐病菌 *Diaporthe destruence* の検出手法の開発**
○川部眞登
(九州沖縄農研)
- 16 16:15 **フレールモアを用いた落葉処理によるナシ黒星病に対する防除効果**
○藤田 剛輝¹・小松 健太郎²
(¹福島農総セ安全農業推進部 ²福島農総セ果樹研)
- 16:28 発表終了
- 16:30 令和5年度日本植物病理学会九州部会 幹事会 (会場 6階 601会議室)
- 17:00 1日目終了

<30日の部>

9:00 令和5年度受賞者講演 講演50分, 討論10分
座長:井手洋一

地域貢献賞
「バレイショおよび果樹において問題となっている病害対策技術の開発および普及」
長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫研究室 室長 菅 康弘氏

10:00 令和5年度日本植物病理学会九州部会 総会

座長:(松元 賢)

- 17 10:25 ***Gibellulopsis chrysanthemi*によるキク黒斑病 (病原追加)**
○安次富 厚¹・知念央貴²・上江洲 貴子²・田場奏美³・亀山健太⁴・澤岷哲也¹・秋田愛子¹
(¹農研機構植防研・²神奈川農技セ)
- 18 10:38 **ナタマメ (*Canavalia gladiata*) 葉枯れ症状株で確認された細菌病**

について

○土屋健一^{1,2}・櫛間義幸³・飯山和弘¹・後藤 弘²・中村正和²・古屋成人¹
(¹九大院農・²宮崎総農試・³元宮崎総農試)

- 19 10:51 ネットワークメタ解析によるカンキツ白かび病に対する各種殺菌剤の
発病抑制効果評価
○田代暢哉^{1,2}・草場基章²
(¹プラントヘルスケア研, ²佐賀大農)

座長:(草場基章)

-
- 20 11:04 *ApMAT*配列のPCR-RFLPによるイチゴ炭疽病菌 *Colletotrichum*
*gloeosporioides*種複合体3種の識別
○森脇文治
(農研機構九州研)

- 21 11:17 イチゴうどんこ病管理における「プランテクト®」に搭載されたAI発生予測
システムの実用性評価
○菊原賢次・坂井妙子・成山秀樹
(福岡農林試)

- 22 11:30 ナシ園地における胴枯細菌病の発生状況と緑枝を用いた品種別感受性
○近藤知弥¹・児玉龍彦²・衛藤友紀²・原口俊輔³
(¹元佐賀果樹試(現佐賀農業セ)・²佐賀果樹試・³西松浦振興セ)
-

11:43 閉会挨拶